

2. 人材養成目的, カリキュラム・ポリシー, ディプロマ・ポリシー

□人材養成の目的その他の人材教育上の目的

《修士課程》

海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻（修士課程）では、水産学諸分野で培われてきた伝統技術とともに最新の科学技術を駆使して、水産学に付託された生物資源管理や生息環境の保全等に関する課題の本質を国際的な視野に立って解明することができる専門技術者・研究者を養成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、海洋生物資源を持続的にかつ高度に利用するために求められる基礎知識・技術・理論の修得とその応用力の養成とします。

《博士後期課程》

海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻（博士後期課程）では、水産学諸分野で培われてきた伝統技術とともに最新の科学技術を駆使して、水産学に付託された生物資源管理や生息環境の保全等に関する課題の本質を国際的な視野に立って解明することができる専門技術者・研究者を養成することを目的とします。そのための教育研究上の目的は、海洋生物資源を持続的にかつ高度に利用するために求められる基礎知識・技術・理論の修得とその応用力の養成とします。

□教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

《修士課程》

海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻（修士課程）では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

人材育成目的達成のために、多彩な学術的内容を包含する海洋生命科学の専門技術者に求められる高い専門的能力、広範囲にわたる専門知識、技術者倫理をバランスよく獲得できるカリキュラム編成を基本とします。

《博士後期課程》

海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻（博士後期課程）では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

人材育成目的達成のために、多彩な学術的内容を包含する海洋生命科学の専門技術者・研究者に求められる高い専門的能力、広範囲にわたる高度な専門知識、技術者・研究者倫理をバランスよく獲得できるカリキュラム編成を基本とします。

□学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

《修士課程》

海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻（修士課程）では、水産学諸分野で培われてきた伝統技術とともに最新の科学技術を駆使して、水産学に付託された生物資源管理や生息環境の保全等に関する課題の本質を国際的な視野に立って解明することができる専門技術者・研究者を養成することを目的とします。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を習得した者に学位を授与します。

- (1) 国際的視野の下に海洋生物の生息環境を保全して生物資源を管理できる能力
- (2) 生物資源の持続的な利用を図るという社会の要求に対応できる専門技術者に必要な能力

《博士後期課程》

海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻（博士後期課程）では、水産学諸分野で培われてきた伝統技術とともに最新の科学技術を駆使して、水産学に付託された生物資源管理や生息環境の保全等に関わる課題の本質を国際的な視野に立って解明することができる専門技術者・研究者を養成することを目的とします。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を習得した者に学位を授与します。

- (1) 国際的視野の下に海洋生物の生息環境を保全して生物資源を管理できる能力
- (2) 生物資源の持続的な利用を図るという社会の要求に高度に対応できる独立した研究者に必要な能力